

---

# 【詩】星と星の隙間に

sora\_yume

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

【詩】星と星の隙間に

### 【Zマーク】

Z5004Y

### 【作者名】

s o r a \_ y u m e

### 【あらすじ】

私は感情を発する時に一瞬だけ金んだ想いや  
非現実な世界を思い描いたりしちゃう時があります。

その一瞬の中にだけある潔癖過ぎるくらいに  
綺麗なものと切ないものを少しだけ言葉にしてみました。

# Transparent stagnation

星と星の隙間に  
吹き溜まりのよいつな  
行間がある

そこを優しい言葉で  
埋めぬくべつとしたけれど

何故かこの世界の  
不透明に妨げられて

淀みのある言葉を  
埋められてしまった

その言葉を書き換えて  
もう一度上書きしようとしたら

言葉は

言葉として成形せず

その想いだけが

星間上で

波紋粒子のように広がり

最後はいつも簡単に  
消えてしまった

目を凝らしたら

## 窓の外では

誰かと君が

交じり合もつと

## 螺旋階段上に

渦巻いている

空は晴天と濁天

## 目を凝らしたら

光が闇に喰われている

ジリー  
コア

## この身体を

## 水槽の中で泳ぐ

魚のよしに扱わば

僕の二ノは絶え間なく

直立姿勢の不動から

バランスを崩して

コマ送り

呼吸もジリつてくる

刹那的に

Simple

日常の一線を

越えた先では

# あなたの部屋が

膨張と収縮を

繰り返している

ベッドの横で

私を呼ぶ声が聞こえる

脳内はシンプルに

あなただけが駆け回る

(後書き)

境界線の続きのような詩です。

世の中には難しい言葉がたくさんあります  
が出来るだけシンプルな言葉で。

読んだ瞬間に感情が揺らぐような  
そんな言葉が生まれてくれたら  
いいなっていう想いで書いた詩です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5004y/>

---

【詩】星と星の隙間に

2011年11月17日19時49分発行